

【報告】 8月22日(土)、AIFA レフェリーアカデミー研修会を開催しました

8月22日(土)、おおぶ交流の杜にて AIFA レフェリーアカデミー研修会を行いました。今回の内容は全国大会に派遣された審判員の報告会でした。

計6名の審判員による報告では、愛知県内の活動だけでは経験できないものを発表してもらいました。この貴重な経験を今後の審判活動に活かすとともに、他の審判員の目標となることを期待しています。

また、聴衆者は全国大会でレフェリングすることを目標の一つとして、日々の準備へのモチベーションを高めることができました。



【参加者からの感想】

(平澤凌 審判員)

私自身も発表を行い、全国大会や全国研修の様子を報告しました。また他の大会に参加した審判員の発表も聞き、その様子を知ることによってモチベーションの向上にもなりました。全国大会において、どのようなことが求められており、どのような準備が必要なのか改めて整理することができました。質疑応答の時間では、新競技規則について疑問点を共有し後期各リーグ再開に向け良い準備をする時間となりました。私自身も、9月からのシーズン再開に向け良い準備ができるよう尽力して参ります。

(水谷行宏 審判員)

各大会のテーマやキーワードなどを教えていただき、今後、試合の中で意識して取り組むべきことを知ることができました。また、普段とは違う環境、全国大会というプレッシャーのかかる舞台で、それぞれの方たちが感じたことや学んだことはもちろん、大会を通じて困ったことや実際の試合の中で工夫したこと、取り組んだことにも言及してお話ししていただき、たいへん勉強になりました。

今回の報告会を通じて、参加された方々の取組に大きな刺激を受け、身の引き締まる思いです。今回、自分自身が感じたことや学んだことを今後の審判活動に活かすとともに、身近な仲間にも伝え、共有していきたいと思えます。

(片岡大基 審判員)

全国大会に参加された審判員の方々に、学ばれた知見や経験を共有していただきました。特に、直近の協議規則の改正に関して、日本協会レベルでの実践指導の内容を拝聴できた点は、大変勉強になりました。

また、報告全体を通して、「普段の環境は当たり前ではない」との言葉が印象に残りました。今一度初心に立ち返り、割当や研修会に参加できる環境が特別なことであると、改めて考えることが出来る貴重な機会となりました。